

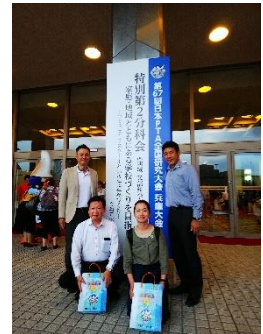
特別第2分科会報告

1 開催日 令和元年8月23日(土)

2 会 場 明石市民会館大ホール

3 内 容

- ・アトラクション
- ・開会行事
- ・基調講演
- ・パネルディスカッション



4 所 感

(1) アトラクション

特2分科会のアトラクションは明石フィルハーモニージュニアオーケストラの皆さんによる素敵な演奏でした。オーケストラの皆さんの頑張りがとても綺麗なハーモニーを奏でておられました。

基調講演	小西 哲也	兵庫教育大学教職員大学院教授
コーディネーター		CSマイスター
パネリスト	西 祐樹	文部科学省地域学校協働活動推進室専門職
"	大谷 宗雄	二見北まちづくり協議会会長
"	赤松 弘一	明石市立二見北小学校校長
"	前田 亜樹	下関市立桜山小学校PTA会長
"	齋藤 芳尚	日本PTA全国協議会前副会長

(2) 基調講演・パネルディスカッション

小西先生の基調講演では学校の空き教室を地域に貸してそれに興味を持った生徒がそこへ混じって地域の方と活動する事例、地域の方々が学校の授業(指定教科のみ)に生徒と共に参加出来るような取り組みの事例、学校内の生け花を地域の方が受け持ち、生徒と交流した事例など具体的に参考になる事例がありました。

分かりやすい説明でコミュニティスクールに関係の無い方にも小西先生の講演を聞いて欲しいなど感じる内容でした。なぜならコミュニティスクールは、今後さらに実施されて行き、またこれからの社会で生徒にも先生にも、地域にもとても有意義なものになるからです。ですが、コミュニティスクールの意義を知り実践無くしてはその良さは活かせません。

小西先生の講演の中でも本来のコミュニティスクールの利点【生徒には生きた学びを、教員には本来の業務に時間を費やす事が出来るように、地域には世代を超えた人との交流が出来、生きがいのある時間を作り出せる】を感じましたが中でも一番心に残ったのは『学校での授業に地域の人が生徒と共に教室で学ぶ』という取り組みに対しての言葉です。それは『《子供達のために力を貸して下さい》というお願いを地域に発信し、助けてもらう事には限界がある。そのような手助けを求め、与えてもらうのではなく、この取り組みの様に学ぶ事を楽しい、学ぶ事を好きだという大人の姿を実際に教室という学ぶ場所で見せたら子供だって学ぶ事が好きになり学ぶ事の大切さが伝わる』です。

昨年度まで能美市にコミュニティスクールをアドバイスして下さった先生も『地域の人にこれをやして下さいと子供達の支援してもらうただの支援はコミュニティスクールでは無い。間違えないように。』と言っておられました。小西哲也先生のお話も前述の先生のお話も『コミュニティスクールと支援はイコールでは無い』という事は同じでした。この分科会で学んだ事を少しでも自分の地域で実践していけるように、また地域の活性化の一助となれるように活動していこうと思います。このような機会を与えていただきありがとうございました。